



No.425

令和元年9月27日

編集発行 富山県教育委員会

発行人 教育企画課長

教委だより

新シリーズ

特集 子どもとの面談テクニック・子どもへの話しかけ方テクニック (p2)



中学校部門 (高岡会場)



高校部門物理分野 (ウェーブマシンを伝える波の速さ測定)



高校部門化学分野 (海洋深層水中のイオン濃度測定)



高校部門生物分野 (薄層クロマトによる藻類の色素抽出)

むずかしいところがおもしろい とやま科学オリンピック2019 県内5会場で開催!

今年9回目となったとやま科学オリンピックの小・中学校部門は8月3日(土)に魚津高校、富山中部高校、高岡高校、砺波高校で、また高校部門(数学、物理、化学、生物)は8日(木)に富山大学で開催されました。今年は1,218名の児童生徒(小学校部門299名、中学校部門554名、高校部門365名)が参加し、富山の自然や環境、歴史、文化などを背景とした問題に挑戦しました。また新たに開催した「親子でチャレンジ体験教室」には小学校3～4年生の親子88組が参加し、親子で製作したプロペラカーの走行距離を競いました。実施後のアンケートでは「富山の魅力がよく分かったし、それを使って問題を解く応用問題もおもしろかった」(小学生)「問題を解くのに一筋縄ではいかず、自分が持っている知識、資料から読みとれる情報を総動員して解かなければならないところが面白い。」(中学生)などの感想や、なかには「なかなか解けない難しい貴重な問題を解くことができ、すごうれしく思った。数学嫌いが数学好きに、僕みたいな数学好きがもっと数学好きになれるようにこれからも楽しい問題を作り続けてください。」(高校生)という大会へのメッセージも見られました。

今後は12月14日開催予定の富山県教育フォーラムにおいて、成績上位者に対し、金賞・銀賞・銅賞及び特別賞を授与する予定です。

Contents (主な内容)

- 特集 子どもとの面談テクニック
・子どもへの話しかけ方テクニック …2p
- 「英語学習パートナー」派遣事業 ……3p
- 第1回 とやま親学び推進協議会を開催 ……3p
- とやま親学び「推進リーダー等研修会」及び
「親学びスーパーリーダー等研修会」を開催 ……3p
- 令和元年度 全国中学校体育大会 ……4p
- 令和元年度 全国高校総体 ……4p
- 第26回 環日本海インターハイ親善交流大会 ……4p
- 令和元年度「高校生とやま県議会」開会 ……5p
- 放送大学 教員免許更新講習 受講生募集 ……5p
- 第36回「とやま賞」贈呈式 ……5p
- 令和元年度 永年勤続教職員等表彰式 ……5p
- みんなで食育の充実を ……6p
- 埋蔵文化財センター 出前授業 ……6p
- 中学校・高等学校卒業者の進路状況調査結果 ……7p
- 平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果より ……7p
- 令和2年度 県立学校募集定員 ……8p
- ストレスチェックについて ……9p
- インフォメーション ……9p
- 総合教育センターNOW ……10～11p
- 学校レポート
「自らを啓くー自分で考え、自分で行動するー」
滑川市立寺家小学校 ……12p
- リレーエッセイ「努力のさせ方、努力の仕方」
西部教育事務所長 関原 秀明 ……12p

特集

子どもとの面談テクニック・子どもへの話しかけ方テクニック

～その1～

～「いじめられてない？」と声かけをして、「大丈夫です」と言われたことはないですか？～

いじめの被害者、加害者と適切な面談を行うため、「面談テクニック・話しかけ方テクニック」を3回にわたり連載します。今回は被害者編です。気になる児童生徒の面談にご活用ください。(監修 臨床心理士 山藤 奈穂子先生)

<「いじめ」という言葉を使わずに、いじめの被害を早期発見するポイントと具体的な声かけ>

ポイント

- ・顔色が悪い、授業中に発言しなくなったなど、些細な変化を見逃さず、客観的に「○○のように見えるよ」とアプローチをする。
- ・本人が一方向的に決めつけられたと感じない表現がよい。
- ・本人が「はい・いいえ」で返答できる声かけにする。「できていない」ことでもその理由(内面)にふれずに、「いいえ」と返答できる声かけからスタートする。

具体的な声かけ

- ・「最近元気がないように見えるよ」
- ・「最近笑顔が少なくなったような気がするなあ」
- ・「食欲はある?」、「夜はよく眠れてる?」
- ・「お腹が痛いとか、頭が痛いとかはない?」等

まずは、アプローチが大切です。



このアプローチに

応じない場合

応じる場合

ポイント

- ・子どもによって、話しやすい相手は異なる。
- ・担任に話しぶりいようならば、他の話しやすい人へ橋渡しする。
- ・学校の外にも相談機関があることを教える。

具体的な声かけ

- ・「先生に話しぶり良かったら、スクールカウンセラーの先生もいるよ。保健室の先生も相談のってくれるよ」
- ・「学校で話しくかったら、相談電話など、学校の外にも話を聞いてくれるところがあるよ」等

ポイント

- ・「悩んでいるのではないかと質問すると、子どもは隠そうとする場合がある。
- ・本人にとって答えやすく抵抗の少ない言葉を使う。
- ・誰にも話せていない場合は悩みを一人で抱え込もうとしていたり、深刻な悩みだったりすることもあるので、注意が必要である。

具体的な声かけ

- ・「何かちょっとでも困っていること、どうしていいかわからないことはあるかな?」
- ・「そうか。そのことについて、誰かに話せている?」等



いじめの被害の内容を聞き出す

ポイント

- ・「いじめられている」というのは、本人にとって恥ずかしいこと、認めたくないこと、気付かれないことなので、その心理を十分に理解することが大切である。
- ・答えを選択式にすることで、言葉にするのが難しい子どもでも話しやすくなる。
- ・いじめの加害者を明らかにしなくても相談してよいという雰囲気をつくる。また、信頼関係を構築できれば相手の名前を自ら話す場合が多い。
- ・いじめの内容を絵や表にまとめながら、具体的にありありとその場面が描けるように聞き出す。
- ・本人に寄り添い、気持ちを吐き出させてあげる。
- ・本人の気持ちを尊重しながら、今後の対応について相談する。このとき、本人が答えられない場合を考え、3パターン以上の準備をしておくことよい。

【例】「謝ってほしい」、「二度とやらないでほしい」、「関わってほしくない」

具体的な声かけ

- ・「困っていることは、①家族に関すること、②勉強に関すること、③先生に関すること、④クラスや部活の人間関係に関すること、⑤その他、のどれかな?」
- ・「人間関係で困っているの?それは、①クラス、②別のクラス、③部活、④学校以外の塾、⑤その他、の中ではどれだろう?」
- ・「もし誰の事が言いたくなかったら、名前は言わなくていいよ。仮にAさんとして。」
- ・「Aさんから嫌なことを言われたり、されたりしたのかな?」
- ・「その時、あなたはどんな気持ちだった?嫌だった?悲しかった?腹が立った?」
- ・「Aさんに、この後どうしてほしい?」等



「秘密にするから」「内緒にするから」などのできない約束はせず、「あなたを守ってくれる大人に伝えることは大切なこと」であることを理解させる。

「英語学習パートナー」派遣事業

小学校では、来年度から新学習指導要領が全面実施となり、5、6年生に外国語科、3、4年生に外国語活動が導入されます。

県教育委員会では、外国語活動の授業を支援するため、昨年度から「英語学習パートナー派遣事業」を実施しています。

本事業は、児童の英語でのコミュニケーションへの意欲向上や教員志望の大学生の資質・能力等の向上を図ることを目的として、英語が得意な大学生を小学校に派遣し、外国語活動の指導補助に取り組んでいただき、指導を一層充実させるものです。

今年度1学期は、富山大学、富山国際大学の学生12人が県内の小学校9校に派遣されており、学生たちは、専科教員や担任、ALTと連携しながら、デモンストレーションを行ったり、児童と英語で会話したりしています。児童からは「分からない言葉を優しく教えてくれる」「分からないときに質問しやすい」と好評です。また、先生方からは、「積極的に児童のサポートをしている」「前に出て会話のモデルを示すなど、児童の理解の助けになっている」との声が聞かれます。

本事業を通して、外国語教育の充実を図り、児童の英語への興味・関心やコミュニケーション意欲の向上につなげていきたいと考えています。

第1回 とやま親学び推進協議会を開催

家庭の教育力の向上を目指した「親を学び伝える学習プログラム」を活用した「親学び講座」は、小・中学校を中心に、幼稚園・保育所・認定こども園等でも開催されるようになり、年間の参加者数が約3万5千人となっています。

5月27日(月)に開催した「とやま親学び推進協議会」では、県P連及び地区P連の代表者をはじめ関係機関が集まり、親学びの意義や、継続していくための方策等について協議しました。



第1回とやま親学び推進協議会

とやま親学び「推進リーダー等研修会」及び「親学びスーパーリーダー等研修会」を開催

「親学び講座」は、「小中推進リーダー」「小中推進スーパーリーダー」「幼保推進リーダー」によって、普及・啓発活動が行われています。

6月8日(土)と23日(日)に県内4会場で「推進リーダー等研修会」、8月3日(土)に「親学びスーパーリーダー等研修会」を開催し、のべ116人が受講しました。「推進リーダー等研修会」では、演習と意見交換を通して、「親学びスーパーリーダー等研修会」では、大学教授による家庭教育に関する講義と意見交換を通して、「親学び講座」を運営・進行する技術や、リーダーとしての資質の向上を図りました。「親学びスーパーリーダー等研修会」は、10月と1月にも開催する予定です。

子どもたちの健全育成のきっかけをつかむためにも、多くの保護者の方々に「親学び講座」に参加していただきたいと思っています。



推進リーダー等研修会



親学びスーパーリーダー等研修会

令和元年度 全国中学校体育大会

「全国大会で活躍した富山県の中学生」

富山県中学校体育連盟 理事長 二山 雄斗

「君の夢 かなえる場所が 近畿にある」のスローガンのもと、令和元年度全国中学校体育大会が近畿ブロックで開催されました。本県からは、14競技に163名の選手が参加しました。大会では、陸上競技男子4×100mリレーの速星中学校が県中学新記録で2位、水泳競技男子200m個人メドレーの上田滉貴選手（富山市立北部中）、ハンドボール競技男子の水見市立北部中学校の3位をはじめ、5競技14種目において入賞を果たしました。

また、JOCジュニアオリンピックカップ全日本中学生ホッケー選手権大会では、大谷中学校女子が優勝に輝くなど、多くの選手が全国の舞台で活躍しました。来年度は、東海ブロックで全国中学校体育大会が開催されます。本連盟ではさらなる選手の育成と強化を進めてまいりたいと思います。



ホッケー競技女子1位
大谷中学校



陸上競技男子4×100mリレー2位
速星中学校

令和元年度 全国高校総体

「感動は無限大 南部九州総体 2019」を終えて

富山県高等学校体育連盟 理事長 二瀬 寛之

「響かせる 我らの魂 南の空へ」のスローガンのもと、令和元年度全国高校総体が、鹿児島県、熊本県、宮崎県、沖縄県の南部九州4県と和歌山県を会場に開催され、本県から30競技に490名の選手が参加しました。

今年は、梅雨明けが遅いうえに、台風の影響で日程の変更があるなどコンディション作りの難しい大会となりましたが、本県選手はよく健闘し、11競技18種目でベスト8以上の好成績を収めました。団体ではホッケー女子（石動）が前評判通りの実力を発揮し2連覇（通算6度目の優勝）を達成。サッカー男子（富山第一）も快進撃を続け、初の決勝進出で準優勝に輝きました。個人では、陸上競技女子100mHとレスリング女子57kg級、自転車男子4km速度競争で3位に入賞しました。

また、公開競技ながら水泳（飛込）男子シンクロナイズドスイミング3m飛板飛込みで2位入賞を果たしました。

高校生諸君には、全国高校総体の経験を糧として、今後ますますの飛躍に期待いたします。



現地激励会



石動高校女子ホッケー部

第26回 環日本海インターハイ親善交流大会

8月5日(月)～8月10日(土)の6日間、富山県と環日本海諸国（ロシア沿海地方、韓国江原道、中国遼寧省）との高校生スポーツ交流「第26回環日本海インターハイ親善交流大会」が韓国江原道春川市で開催されました。バスケットボール競技（男子）と柔道競技（女子）を通して、競技力の向上を図るとともに、各地域の相互理解と友情を深めました。



令和元年度「高校生とやま県議会」開会

高校生の主体的な政治参加意識や地域社会へ参画する意識の向上を図ることを目的に今年度も「高校生とやま県議会」を実施します。8月6日の開会式では、県内の高校2年生40名の「高校生議員」に議員認定証が渡されました。また、株式会社POTETO Media代表取締役 古井康介氏による講演を聞き、政治参加の大切さを学びました。午後の委員会活動では5つの委員会に分かれ、12月の本会議で高校生の視点から「元気とやまの創造」について提案する準備を始めました。



講演の様子



委員会活動の様子

放送大学 富山学習センター 教員免許更新講習 受講生募集

- 申込期間** 10月25日(金) 10時～11月22日(金) 17時 (講習料/1科目6,000円)
- 受講期間** 2月1日(土) 10時～2月18日(火) 17時 ※更新に必要な30時間全てインターネットで受講可能(栄養教諭除く)
- 試験日** 2月29日(土) または3月1日(日) ※申込時に選択したいずれか1日
- 申込方法** 放送大学ホームページから申込
- 問合せ先** (0766) 56-9230



◀ 申込はこちらからもできます。



第36回「とやま賞」贈呈式

第36回「とやま賞」贈呈式が5月29日(水)富山国際会議場で行われ、学術研究等で顕著な業績を挙げた研究者等を称え、石井隆一富山県ひとりづくり財団理事長が賞状と奨励金の目録を贈呈しました。引き続き受賞者による記念講演が行われ、研究の内容や苦労したことなどを分かりやすくお話いただき、会場の高校生からの質問にも答えていただきました。



「とやま賞」は、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人または団体に贈られ、今回で36回を数えます。詳しくは財団ホームページをご覧ください。http://www.t-hito.or.jp/zaidan/toyamashou/

第36回「とやま賞」受賞者(敬称略)

学術研究部門(医 薬) 小林 栄治(富山大学)	科学技術部門 田中 利恵(金沢大学)
(理 工) 石山 達也(富山大学)	文化・芸術部門 タニノクロウ(庭劇団ペニノ)
(理 工) 多喜 正泰(名古屋大学)	

令和元年度 永年勤続教職員等表彰式

令和元年度 永年勤続教職員等表彰式が、7月1日県庁で行われました。県全体では、勤続30年が311名、勤続20年が120名、合計431名が表彰を受け、その代表者が教育長から表彰状を授与されました。

伍嶋教育長は、式辞で「今日、教育県富山として全国から高い評価をいただいているのも、ひとえに皆様方の永年にわたる努力と熱意の賜物と、心から感謝します。」と謝意を表しました。

これに対して永井誠高陵中学校長が代表し、「平成の時代とともにあった30年間の教員生活では、楽しく充実した日もあれば、思うようにいかず悔しい思いや辛い思いをした日もありました。たくさんの方々のおかげでこれまで勤めてこられたことに感謝の気持ちでいっぱいです。これからも未来を担う大切な子どもたちのために、また後に続く仲間のために、私たち一人ひとりができることに精一杯取り組んでまいることをお誓い申し上げます。」と謝辞を述べられました。



謝辞を述べる永井誠高陵中学校長

～みんなで食育の充実を～

学校における食育を推進し、「元気とやまっ子」の育成を目指しましょう！

「毎日しっかり朝ごはん」運動

朝から元気に活動する児童生徒の育成を目指し、平成19年度より「毎日しっかり朝ごはん」運動を実施しています。

朝食の役割や朝食摂取の食習慣の大切さを啓発するため、毎年、県内全小・中・高・特別支援学校に「食育カレンダー」を配付しています。また、2学期からの指導に活用できるように、8月中に県内の全小学1年生用の食育教材「食育ランチマット」を配付しています。

「とやまゲンキッズ作戦（健康づくりノート）」の調査項目から得られる朝食欠食率に関しては、本県では継続した取組の成果が表れているものの、限りなくゼロに近づける努力が今後とも必要です。また、「朝食内容」の栄養バランスは、全小・中学生のうち、50.9%が「黄（炭水化物）・赤（タンパク質）・緑（野菜・果物）」、43.6%が「黄・赤」または「黄・緑」の朝食を摂取しており、計94.5%が体を目覚めさせ、脳を活発に働かせる「炭水化物とおかず」の組合せであることが分かりました。（平成30年度調査結果より）

今後とも、児童生徒が栄養バランスのよい朝食摂取を心がけ、朝から元気に活動できるように、引き続き指導をお願いします。



令和元年度配付食育ランチマット

<朝食欠食率（「第3期富山県食育推進計画」の目標指標）>

	策定時 (H28)	現 状 (H30)	目 標
● 朝食を欠食する子どもの割合（小学校5年生）	0.8%	→ 0.8%	→ 限りなくゼロに
（中学校2年生）	2.0%	→ 2.1%	→ 近づける

食に関する指導の手引（第二次改訂版）配布

平成19年3月初版の『食に関する指導の手引』が、平成31年3月に第二次改訂版として文部科学省より発行されました。改訂の目的は、①学習指導要領等の改訂を踏まえる ②社会の大きな変化に伴う子供の食を取り巻く状況の変化に対応する ③これら2点に基づきこれからの学校における食育の一層の推進を図ることです。

【改訂のポイント】

- (1) 食に関する資質・能力を踏まえた指導の目標の明示
- (2) 「食に関する指導に係る全体計画」の作成の必要性と手順・内容
- (3) 食に関する指導の内容の三体系と栄養教諭の役割
- (4) 食育の推進に対する評価の充実

食に関する指導の全体計画の作成については、新たに、指導要領の総則に位置付けられました。食育については、小学校及び中学校では、各教科、道徳科及び総合的な学習の時間等においてもそれぞれの特質に応じて適切に行うよう努めることが示されています。手引には、食に関する指導の全体計画の作成視点が詳しく示され、各教科等における食に関する指導の展開例も多く掲載されています。教職員全員で活用し、学校における食育の推進を図っていただきますようお願いいたします。



埋蔵文化財センター 出前授業

埋蔵文化財センターでは、小・中学生、高校生などを対象に、出前授業を実施しています。授業では、県内の遺跡から出土した本物の縄文土器や弥生土器などにふれることができるほか、火起こし体験や、まが玉づくりなどの考古体験とおして古代の人々の技や暮らしを学びます。

考古学の専門職員と社会教育主事が学校の学習のねらいや要望に合わせた授業を行います。出前授業は随時受け付けております。ぜひ、社会科や歴史、総合的な学習の時間にご利用ください。



出土品にふれる児童

中学校・高等学校卒業者の進路状況調査結果 — 令和元年5月1日現在 —

1 中学校

平成31年3月に県内の中学校（国立1校、公立79校1分校、私立1校）を卒業した生徒は9,552人（男子4,887人、女子4,665人）で、前年より104人減少しました。〈表1〉高等学校等進学率については、99.2%（前年99.4%）で、全国第8位（前年第4位）となっています。〈表1・表2〉就職率は0.2%（前年同率）でした。〈表1〉

〈表1〉中学校卒業者の進路状況

各年3月	実数(人)						割合(%)		
	a 卒業生	b 高等学校等 進学者	c 専修 学校等 進学・ 入学者	d 就職者	e その他	f (再掲) b,cの うち 就職者	b/a 高等 学校等 進学率	c/a 専修 学校等 進学・ 入学率	(d+f)/a 就職率
27	10,189	10,101	4	19	65	1	99.1	0.0	0.2
28	10,095	9,995	5	24	71	3	99.0	0.0	0.3
29	10,111	10,038	3	15	55	2	99.3	0.0	0.2
30	9,656	9,594	0	12	50	4	99.4	0.0	0.2
31	9,552	9,472	4	14	62	2	99.2	0.0	0.2

2 高等学校

平成31年3月に県内の高等学校（公立41校2分校、私立10校）を卒業した生徒は9,142人（男子4,681人、女子4,461人）で、前年度より53人減少しました。〈表3〉

〈表2〉高等学校等進学者の進路先状況

区分	進学者 総数	高等学校			高等専 門学校	特別支 援学校 高等部
		全日制	定時制	通信制		
実数(人)	9,472	8,745	295	103	247	82
割合(%)	99.2 (99.4)	91.6 (92.6)	3.1 (2.7)	1.1 (0.6)	2.6 (2.6)	0.9 (0.7)

(注) ()内は、前年度調査結果の数値である。

大学等進学率は52.7%（前年51.9%）で、全国第17位（前年第22位）となっています。〈表3・表4〉

〈表3〉高等学校卒業者の進路状況

各年3月	実数(人)										割合(%)			
	a 卒業生	b 大学等 進学者	c 専修 学校等 進学・ 入学者	d 就職者				f (再掲) b,cの うち 就職者		b/a 大学等 進学率	c/a 専修 学校等 進学・ 入学率	(d+f)/a 就職率	(b+c+d +e)/a 進学と 就職の 割合	
				正規	非正規	e 無認可 の予備 校・私 塾等	その他	正規	非正規					
27	9,365	4,870	2,288	2,061	2	144	18	0	52.0	24.4	22.2	98.5		
28	9,161	4,762	2,156	2,076	7	160	8	1	52.0	23.5	22.8	98.3		
29	9,115	4,760	2,190	2,083	3	160	9	0	52.2	24.0	22.3	98.5		
30	9,195	4,770	2,038	2,024	3	138	7	0	51.9	22.2	21.9	98.5		
31	9,142	4,822	1,925	2,077	3	138	7	0	52.7	21.1	21.3	98.3		

(注) ・「その他」には、一時的就労者（アルバイト等）を含む。
 ・表中「d」「f」内の「正規」は正規の職員等で、「非正規」は正規の職員等でない。
 ・無認可の予備校・私塾等に進学した者は、H29まで「専修学校等進学・入学者」に含めて計上していたが、H30に変更となった学校基本調査に合わせて「左記以外の者」に計上している。

就職率は21.3%（前年21.9%）でした。〈表3〉なお、県内就職割合は95.3%（前年94.1%）で全国第2位（前年第2位）となっています。

卒業者に占める進学者と就職者の合計の割合は98.3%（前年98.5%）となっています。〈表3〉



〈表4〉大学等進学者の学校種別・設置者別進学状況

区分	大学等 進学者 総数	大 学				短期大学			そ の 他	
		計	国立	公立	私立	計	国立	公立		私立
実数(人)	4,822	4,048	1,095	463	2,490	701	3	34	664	73
割合(%)	52.7 (51.9)	44.3 (44.4)	12.0 (12.7)	5.1 (4.4)	27.2 (27.2)	7.7 (6.8)	0.0 (0.0)	0.4 (0.3)	7.3 (6.5)	0.8 (0.8)

(注) 「その他」は、大学・短期大学通信教育部、高等学校専攻科及び特別支援学校高等部専攻科等である。
 ()内は、前年度調査結果の数値である。

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果より

本年4月に実施された全国学力・学習状況調査について、7月に文部科学省より結果が公表されました。教科別平均正答率をみると、本県は、今年度初めて実施された中学校英語を含め、小・中学校とも全ての教科において全国の平均正答率を上回っており、全体として一定の学力水準が保たれています。

これは、児童生徒一人一人の日頃の努力が成果となって現れた結果であり、児童生徒に応じたきめ細かな指導に取り組んでこられた市町村教育委員会や各学校の教職員の努力、学校教育を支えていただいている保護者や地域の方々の理解と協力によるものと考えています。

授業改善や学習習慣、生活習慣の定着等の学力向上策は、継続して取り組むことが大切であり、今後とも市町村教育委員会と連携しながら、各学校の取組を支援してまいります。

	小学校6年		中学校3年		
	国語	算数	国語	数学	英語
本県平均正答率	68%	69%	76%	65%	57%
全国平均正答率	64%	67%	73%	60%	56%
H31(全国との差)	(+4)	(+2)	(+3)	(+5)	(+1)

※平成31年度(令和元年度)より、A問題・B問題という区分を見直し、知識・活用を一体的に問う問題形式で実施。

令和2年度県立学校募集定員

- ◆ 全日制6,662人、定時制約960人、通信制約300人、専攻科約160人を募集します。
- ◆ 特別支援学校の高等部及び高等部専攻科の募集人員は、約280人に訪問教育の若干名を加えたもの、並びに幼稚部は若干名とします。
 - 令和2年3月の中学校卒業予定者数は、平成31年3月に比べ247人減の9,305人の見込みであり、全日制課程の募集定員は、令和元年度に比べ119人減の6,662人とします。
 - また、再編対象校8校を募集停止とし、新高校4校を開設します。
 - 定時制課程の募集定員は、令和元年度と同様とします。
 - 通信制課程の募集定員は、令和元年度と同様とします。
 - 専攻科の募集定員は、令和元年度と同様とします。
 - 特別支援学校高等部及び高等部専攻科、幼稚部の募集人員は、令和元年度と同様とします。

	募集定員	前年度比	備考
全 日 制 課 程	6,662人	-119人	
定 時 制 課 程	約960人	—	
通 信 制 課 程	約300人	—	
専 攻 科	約160人	—	
特別支援学校 高等部 及び高等部専攻科	約280人	—	訪問教育若干名を加える
特別支援学校 幼稚部	若干名	—	

令和2年度 富山県立高等学校全日制課程第1学年募集定員

学校名	学科名	募集定員		備考
		学級	定員	
泊高校と入善高校による新高校	普通	4	160	自然科学コース 観光ビジネスコース
	農業	1	30	
桜井	普通	3	120	帰国生徒5
	土木	1	40	
	生活環境	1	40	
魚津	普通	4	160	電子機械コース 化学工業コース
	機械	2	80	
	電気	1	40	
魚津工業	情報環境	1	40	
	普通	2	80	
	薬業	1	40	
滑川	商業	1	40	
	海洋	1	40	
	総合	4	160	
雄山	普通	3	120	
	生活文化	1	40	
中央農業	生物生産	3	90	作物科学コース 動物科学コース 園芸福祉コース 環境緑化コース 生物工学コース 食品加工コース
	園芸デザイン			
	バイオ技術			
八尾	普通	4	160	福祉コース
富山西	普通	4	160	
	普通	5	200	
	理数科学 人文社会科学	2	80	
富山	普通	5	200	探究科学科
	理数科学	2	80	
	人文社会科学	2	80	
富山中部	普通	5	200	探究科学科
	理数科学	2	80	
	人文社会科学	2	80	
水橋高校と富山北部高校による新高校	普通	3	120	体育コース約40
	くすり・バイオ	2	80	
	情報デザイン	1	40	
富山工業	機械工学	2	80	
	電子機械工学	1	40	
	金属工学	1	40	
	電気工学	2	80	
	建築工学	1	40	
	土木工学	1	40	
富山商業	流通経済	2	80	
	国際経済	1	40	
	会計	2	80	
	情報処理	2	80	
富山いずみ	総合	4	160	
	看護	1	40	
富山東	普通	6	240	自然科学コース約40
富山南	普通	6	240	国際コース
呉羽	普通	6	230	音楽コース約30

学校名	学科名	募集定員		備考
		学級	定員	
小杉	総合	4	160	
大門	普通	3	120	情報コース
	普通	3	120	
新湊	商業	1	40	
	普通	5	200	
高岡西高校と高岡高校による新高校	普通	2	80	探究科学科
	理数科学	2	80	
	人文社会科学	2	80	
高岡工芸	機械	1	40	土木工学コース 環境化学コース
	電子機械	1	40	
	電気	1	40	
	建築	1	40	
	土木環境	1	40	
	工芸	1	30	
高岡商業	デザイン・絵画	1	40	
	流通経済	2	80	
	国際経済	1	40	
	会計	1	40	
伏木	国際交流	3	120	中国語コース 韓国語コース ロシア語コース
	情報処理	1	40	
高岡南	普通	4	160	人文科学コース
福岡	普通	4	160	英語コース
氷見	普通	3	120	
	農業科学	1	40	
	海洋科学	1	40	
	ビジネス	1	40	
砺波	生活福祉	1	40	
	普通	5	200	
砺波工業	普通	5	200	
	機械	2	80	
	電気	1	40	
南砺福光高校と南砺福野高校による新高校	電子	1	40	
	普通	4	160	
	国際	1	30	
南砺平	農業環境	1	30	
	福祉	1	30	
石動	普通	1	32	
	普通	4	160	
合計	商業	1	40	
	合計	169	6,662	

※ 備考欄の「〇〇コース約△△」及び桜井高校普通科の「帰国生徒5」は、定員の内数である。
また、コース名のみは、2年次に開設するものである。

※ 詳しくは、県立学校課のHPをご覧ください。(http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/3003/index.html)

ストレスチェックについて

— 教職員のメンタルヘルス —



自分で心の健康状態をチェックすることは、ストレスへの気づきを促し、健康管理や精神疾患の未然防止に役立ちます。自分の健康は、まずは自分で守りましょう。

心のセルフチェックシステムのご案内

公立学校共済組合では、教職員の方が24時間いつでもできる心のセルフチェックシステムをインターネットで提供しています。初回の利用時は、「共済フォーラム」に記載されているユーザー名・パスワードでログインしてください。 <https://kokoronokenkou.jp/Stress/LoginPortal.aspx>

教職員・心の健康管理医による個別相談

県教育委員会と公立学校共済組合富山支部では、「教職員・心の健康管理医」として専門医に委嘱し、無料の個別相談を実施していますので、お気軽にご相談ください。

利用について詳しいお問合せは、公立学校共済組合富山支部健康管理係まで TEL: 076-432-7176

インフォメーション

会場所 内容 対象 募集人数 応募要領
募集締切 参加料 ホームページ 問い合わせ

受講者募集 富山県映像センター ☎076-441-8455

- ① 1から始める“動画”づくり (初級編)
- ② ビデオ撮影・編集テクニック (中級編)

期日 ①9月22日(日) ②11月17日(日) 各日10:00~16:00

富山県教育文化会館 5階

講師 富山県映像関連事業社協会会員
学校や部活動の紹介、授業での動画活用などに役立つ2講座です(中・高生も受講可)。

無料 ①②共に開催前日(定員になり次第締切)



平成30年度開催風景

入場無料(参加自由) 富山県生涯学習カレッジ高岡地区センター ☎0766-22-5787

令和元年度 ウイング・ウイング祭

期日 11月1日(金)~2日(土)

県立志貴野高校や県民カレッジ高岡地区センター、高岡市生涯学習施設が連携して開催するイベント。日頃の学習成果を発表する展示やステージのほか、名作映画上映会、ミニ講座、記念演奏会を開催予定。ぜひご来場ください。



生涯学習団体ステージ発表

入館無料 富山県埋蔵文化財センター ☎076-434-2814

特別展「HYOUSHIKI 標式土器」

— 私たち研究者の縄文時代の編み上げ方 —

期日 10月4日(金)~令和2年3月8日(日)

本県のこれまでの縄文時代の土器編年研究を振り返りつつ、標式土器とは何か、どんな意味があるのか、その裏に隠されたエピソードなどを交えて紹介するものです。

無料



埴A遺跡出土品(朝日町)

入場無料(参加自由) 富山県生涯学習カレッジ新川地区センター ☎0765-22-4001

第19回 新川キャンパスフェスティバル

期日 11月2日(土) 9:10~15:30

社会人受講者と新川みどり野高校の生徒が、学習の成果を展示・発表します。ステージイベントは、気象予報士“空の探検家”として活動しておられる武田康男氏による講演です。お気軽にご来場ください。



過去の開催風景

申込不要 入場無料 富山県生涯学習カレッジ本部 ☎076-441-8401

第31回 県民カレッジ学遊祭

期日 令和元年10月5日(土)

富山県教育文化会館

県民カレッジ講座の受講者、生涯学習団体および一般県民が一堂に集い、学習成果の発表や展示、交流を行う。上映会(ふるさと学習教材)、講座、ステージ発表、展示、実演、お茶席など。

富山県生涯学習カレッジ本部 076-441-8401

<http://www4.tkc.pref.toyama.jp/toyama/>



平成30年度開催風景

入場無料(参加自由) 富山県生涯学習カレッジ富山地区センター ☎076-441-0301

令和元年度 県民カレッジ富山地区センター学遊祭

期日 11月2日(土) 9:40~14:00

雄峰高校「学園祭」と同時開催。生涯学習団体、自遊塾、共学講座等の作品展示やステージ発表を予定。みなさんのご来場をお待ちしています!



平成30年度開催風景

開催案内 富山県民歩こう運動推進委員会事務局 ☎076-444-3461・FAX 076-444-4617

元気とやまウォークラリーin射水

~元競泳日本代表 星 奈津美さんと歩こう~

期日 10月6日(日) 9時30分(受付9時00分)

海王丸パーク 約5kmのウォーキング

9月27日(金)までにお電話やFAX等でお申し込みください。(当日参加可)



昨年の様子

入場無料(参加自由) 富山県生涯学習カレッジ砺波地区センター ☎0766-61-2020

第19回 となみキャンパスフェスティバル

期日 11月9日(土) 9:00~15:30

となみ野高校の生徒と社会人受講者が、日ごろの学習成果を発表します。(ステージ発表、作品展示、パネルによる活動紹介、模擬店など)ぜひ、ご来場ください。



平成30年度開催風景

開催案内 富山県高等学校文化連盟(県立高岡高校内) ☎0766-29-2530

第31回 富山県高等学校文化祭

期日 10月25日(金)~27日(日)

富山県民会館 無料(見学自由)

県内の高校生が、日頃の文化活動の成果を発表する文化祭で、今年は31回目。10/26(土)午前10時からの演劇や郷土芸能の発表をはじめ、展示発表や交流茶会もあります。高校生の若々しい感性と才能をご覧いただく絶好の機会です。ぜひ、ご来場ください。



H30年度ステージ1 郷土芸能の発表

入場無料 富山県民謡民舞連盟(生涯学習・文化財室) ☎076-444-3456

第68回富山県民謡民舞大会「ふるさと民謡民舞まつり」

期日 11月10日(日) 13:00開演

県内に伝承されている民謡民舞が一堂に会し、日頃の練習成果を発表します。

滑川市民会館 大ホール 開演: 13:00 (開場: 12:00) 無料



過去の大会より

総合教育センター NOW

教育相談部

特別支援教育講座（読み書き支援コース）

知的な遅れはないにも関わらず、平仮名の読みがたどたどしく、読み間違えたり、板書等を書き写すことが極端に遅かったりする児童生徒がいます。読み書きに困難さを抱える児童生徒に対して、どのような支援をしていくことが望ましいのでしょうか。この講座では、実態把握と学習支援について具体例を通して学び、教材づくりを通して理解を深めます。

【第1回】

◆日時 6月13日(木) 9:30～16:30 (講義)

◆講師 金沢星稜大学教授 河野 俊寛 先生

◆演題 「読み書きにつまずきのある児童生徒の
理解と支援について」



河野先生の講義の様子

◆講義の要点

○読み書きが困難な状態とは

- ・小学校1、2年…逐語読み、勝手読み、拗音や促音が読めない書けないなどがある。
- ・小学校3年以降…学年レベルの文章や初めての文章を読むことが困難、黙読ができない、流暢に読めない、平仮名主体の文しか書けないなどがある。
- ・中学生…英語の習得が難しい、作文が書けないなどがある。

○読み書きの評価方法

標準化されたスクリーニング検査を複数組み合わせることで、読み書きが苦手という漠然とした困難さを「見える化」する。

○支援

読み書きができるようにする支援では、例えば、漢字の場合は書き順を言語化して覚える、パーツの組み合わせにする、漢字に視覚的意味を付けるなどがある。しかし、成人になっても読み書きの困難さは残る。読み書きがすらすらと正確にできることが支援目標でなく、学習が遅れないようにすることが支援目標である。

そこで、読み書きを補助・代替する支援が大切である。「読み」への支援としては、行間の拡大、分かち書きなどレイアウトの変更、読む部分だけが見えるスリットの活用、代読、デジタル教科書の活用等がある。「書き」への支援としては、代筆、板書の写真撮影、キーボード入力、音声入力ソフトの活用等がある。

◆受講者の声

○読み書き障害について知ることで、学級の子供たちのつまずきが「これだったのかな」「こうしてあげようかな」というように具体的にイメージすることができました。これからの学校生活で生かしたいです。

○明日から使える支援がたくさん提供され、学校で使いたいと思いました。アセスメント法、ICTを今後使っていきたいと思いました。

○読み書きが困難である児童が文字をどのように認知、理解しているのか気になっていました。読み書きを補助・代替する支援を考えたらよいと知り、いろいろ使ってみようと思いました。

【第2回】

8月8日(木)「つまずきに応じた学習支援の工夫（ICT等の活用と教材作成）」

A班…9:30～12:30 (講義・演習) B班…13:30～16:30 (講義・演習)

第1回の河野先生の講義を振り返り、読み書きのつまずきの背景を確認した後、つまずきにに応じたICT教材(例、文字から音に変換することや単語をまとまりとして読むことに困難さがある子供への教材、漢字の読み書きを学習するタブレットアプリ等)を実際に体験しました。その後、体験した教材を学校で担当している子供が興味を持って使えるように工夫し、作った教材をグループ内で紹介し合い、理解を深めました。

教育研修部

2019年度新規採用教員研修(養護教諭)について

新規採用養護教諭は、「初任者研修」と「新規採用教員研修」を受講しています。研修には、毎回、研修指導者として現職の先輩養護教諭に参加いただき、実践的なアドバイスをいただいています。

6月には、赤十字救急法指導員を講師に「心肺蘇生及びAED」「応急処置の理解と実習」を研修しました。受講者は、緊張感をもって心肺蘇生法や応急処置を何度も真剣に取り組んでいました。

受講者からは、「心肺蘇生は一人では体力がもたないし、蘇生効果が上がらない。全教職員が知識・技術を習得し、チーム対応することが大切だと学んだ」「実践的な内容が多く、自分の体を使って学ぶことができよかった」「年に一度の講習ではなかなか身に付かないので、日本赤十字社の講習に参加したい」といった、専門職としての意識の高い感想が聞かれました。

情報教育研修は、「児童生徒の情報モラル」「保健栄養指導におけるICT」「校務へのPCソフトの効果的な利用」について講義・演習を行いました。受講者からは「ネット依存のおそろしさを再確認した」「同期の方のプレゼンは見習いたいと思うところが多く、参考になった」「事務処理も多い養護教諭に、とてもためになる研修だった。栄養職員さんと初めて一緒に研修し、情報交換や模擬授業を見ることができ、貴重な時間だった」という感想がありました。

日々の学校現場での実践もさることながら、「新採研」で同期の仲間と会うことで、互いの成長を確認し、高め合う機会となっているようです。



科学情報部

「教育資料室」をご利用ください！

富山県総合教育センターの3階には、「教育資料室」があります。教育関係に特化した専門書や雑誌・資料を多数所蔵しています。教育研究のための専門書、教育関係雑誌をはじめ、県内各学校の実践報告書、各県の教育センターや大学の紀要、各種教育団体の研究資料や実践報告書等、幅広くそろえています。令和元年8月末現在で、書籍・文献の蔵書数は9万4千冊あまりとなっています。

授業の実践報告書や学習指導案等も多数保管しており、教材研究、授業づくりの参考にできます。また、発達障害等の児童・生徒を支援するための書籍・文献もそろっており、最新の教育事情が分かり参考になります。

センターに来られなくても、富山県総合教育センターのホームページでは、「教育資料データベース」の検索ができます。「教育資料」をクリックすると検索サイトがあります。14万7千件あまりの書籍や文献の目録が登録されていますので、ご希望に応えられる文献が探せると思います。それらの閲覧や貸し出しも行っています。是非ご利用ください。(利用時間は原則として平日の8時30分～17時)



<http://siryo.el.tym.ed.jp/>



学校におじゃまして取材し、みなさんに各校の取組の様子をお届けします。

学校レポート

自らを啓く — 自分で考え、自分で行動する —

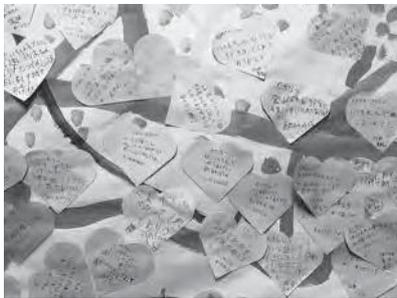
滑川市立寺家小学校

滑川市立寺家小学校は、明治41年4月、滑川男子尋常高等小学校として創設され、令和元年度には創校111周年を迎えました。この伝統ある寺家小学校の特徴的な取組みや子供たちの様子を紹介したいと思います。

国重要無形民俗文化財である「滑川のネブタ流し」には平成13年より毎年参加しています。総合的な学習の時間を活用し、地域の方に教わりながら5・6年生が協力して寺家小学校のネブタを作り上げ、7月31日には滑川市中原海岸「和田の浜」で、夕暮れの海に大松明の火を浮かべました。4年生は「握手の集い」という地域の方との交流会を行っています。参加される方の喜ぶ顔を想像しながら「一緒に楽しめる遊びは何か」や「喜ばれるプレゼントはどんなものか」と話し合い、準備を進めました。交流会の最後、児童は地域の方としっかり握手をし、「またお会いできる日を楽しみに」と見送りました。



ネブタ流し



ありがとうカード

また1年生から6年生までが、〈あそぶとき、さそってくれてありがとう〉など、友達に親切にしてもらったり助けてもらった際の感謝の気持ちをメッセージにして「ありがとうカード」に記し、廊下壁面に装飾掲示しています。毎学期実施する「チャレンジ集会」では、児童の代表が最近がんばっていること、チャレンジしていることを、全校児童の前で発表しています。ピアノやサッカー、縄跳び、一輪車や、過去には落語を披露した児童もいたそうです。

児童の心に響く様々な仕組みを児童に届けようと工夫する教職員のみなさんの姿と、活動に取り組む寺家小児童の目が輝く様子を想像し、心が温まる訪問になりました。

リレーエッセイ

「努力のさせ方、努力の仕方」

西部教育事務所長 関原 秀明

企業やスポーツチーム等で、リーダー教育の講師やメンタルトレーナーをされている飯山昶郎さんの講演を聴く機会がありました。

人は、プラス思考の言葉、動作、笑顔を意識することで、「できる!」と自らの脳に思い込ませ、いざというときに本来の力を発揮できる、というものでした。一方、マイナス思考の言葉を繰り返し聞かされると、脳は「できない」と思い込み、「できる」範囲が狭くなるそうです。

話を聞きながら、かつて担任をしていた頃のことを思い返していました。受験期を迎えた中学3年生を前に、勉強をさせたい思いから、「もっと努力しなかったら希望校の点数には届かない」などと否定的な表現を使っていました。部活動の指導においても然りです。「できている自分」をイメージできる言葉をかけるべきでした。脳の使い方を
知ること、教育に生かせることが多いように思います。

脳科学者中野信子さんが著書の中で「努力中毒」という言葉を紹介されています。これは脳が、「苦しくても努力はすればするほど意味がある」と思考する状態を指します。そのように考えてしまうのは、脳(内側前頭前野)が「自分は今いいことをしている」と判断し、快感を得るからなのだそうです。子供たちができるだけ多くの時間をかけて勉強したり、部活動に取り組んだり、教員が子供たちのためだと長時間働くことは尊いことではありますが、成果につながっているか、弊害はないかを客観的に見る必要があります。脳の使い方や特徴を知ること、同じ努力でもやり方を変えることができるのではないかと考えています。



■執筆者プロフィール

射水市出身 西部教育事務所主任指導主事、高岡市立国吉小学校長、西部教育事務所次長・管理課長を経て平成31年4月より現職

御意見・感想・学校が元気になるアイデア等お寄せ下さい。

教育長への直通メールアドレス：ml-powerup@pref.toyama.lg.jp